

『愛淫墮ち～売春クラブの若頭に仕込まれて～』

著：高月紅葉

ill：minato.Bob

「さてと、竹成くん。ビジネスの話だよ。君が肩代わりすることになった五百万。すぐに用意できそう？ 親に泣きつけるなら、それで手を打ってもいいよ」

「.....無理です」

「じゃあ、君自身が返すってことでいいよね」

「これ、違法ですよ。五十万が一ヶ月で五百万って.....」

「そもそも、商売じゃないんだよね。金貸しは。山本くんを信用して貸した人がいるんだよ。でも、彼は逃げちゃった。だから、僕らは取り立てを頼まれていてね。.....五十万って大金だと思わない？ 君はいますぐ用意できる？ できないよね。それを貸すとき、もしものときはゼロひとつ増えるよって念を押すことはそんなに変かな？ 変じゃないよね。一か月間は無利子だしね」

男の声はさらさらと流れる。ふいに眠気を感じ、聡は顔をしかめた。片頬で笑った男の表情は、すぐに元へ戻る。

「確かに、五百万はないよね。わかるよ、うん。でも貸した人の気持ちになつたらさ、善意を踏みにじられたわけだし、五十万渡してそれでいいってこともないでしょ。どうする？ どっちにしたって五十万にイロはつけないと。それをすぐに返すとして、お金を借りれそうなカードとか持ってる？」

「.....ないです」

「クレジットカードは作らない主義か。じゃあ、学生ローンで借りるか、いまからカードを作るか。.....竹成くん。ひとつ言っておくとね、相手はヤクザだよ。さっさと返さないと、ひどいことになるってわかるよね？ 追い込みの嫌がらせはさ、そりゃ壮絶だよ。内定の取り消しぐらいで済むわけないよね。君のご両親、それから妹二人だってね、嫌な思いをするだろうね.....。金を渡して、それで金が済むかどうかは、もう向こう次第だろ？ 俺はね、せめて半分はいますぐ払うべきだと思うな。そうすれば、誰にも知られずに終わるよ」

「.....そんな」

夜通しのバイト疲れが、じわじわと聡を絡め取る。部屋に入ったときは目が覚めるほど緊張していたのに、男の柔らかな話口調を聞いているうちに気持ちが緩み、止められなくなっていた。

「眠たそうだな。水、持ってきてやって」

あごでチンピラを使った男は、届けられた水のグラスをゆっくりと聡の前に置いた。清潔そうなブルーのグラスだ。

「さあ、飲んで。無理やりに連れて来て悪かったね。さっき、もう一人いただろう？ あいつは金を貸したヤクザ側の男でね」

ふわりと微笑まれ、聡はグラスへ手を伸ばした。口元へ近づけると、淡いレモンの香りがする。のど越しも爽やかなハーブ水だ。ほどよく冷えていて、一気にごくごく飲み切った。

「五十万を、五百万の半分の二百五十万にして返したくないのもよくわかる。だけどね、どこで借りて

も、利子はつくし、カードローンも金利が高い。金を借りるってそういうことなんだよね。……そこで、俺からの提案なんだけど。バイトしないかな」

「バイト、ですか」

「そうそう。まず、先方には俺が二百五十万を払う。それを働いて返してくれればいい。だけど、ただ働きってのも悪いから、時給は払うよ。二時間で五千円」

「え！ 二時間で？」

「時給なら、二千五百円」

「……でも」

そんな高収入なバイトなんてあるだろうか。

「法には触れないから大丈夫。ただ、風俗系なんだよね」

「フーズク？」

言われても、ぴんと来なかった。女ならともかく男で風俗なんて想像もつかない。

「客筋はいいよ。デリヘルってわかるよね？ それの男の子バージョン。別にスキルなんていらんから。呼ばれたら会いに行って、寝転んで気持ちよくなってれば終わる。契約書あったか」

男に言われ、チンピラの一人が紙とペンを持ってくる。

「いや、俺……、あの」

「とりあえず、話だけ聞いてくれたらいいから」

そう言って、男は契約書の内容を読み始める。その間にも、聡の身体はぐらぐらと揺れた。いつの間にか、チンピラの一人に肩を掴まれていないと止まらないほどになる。

「わかったかな？ 竹成くん」

「あ、はい……」

内容なんてろくに頭に入って来ない。でも、眠ってはいけない、返事をしなければいけない。その一心で返事をしただけだった。

「じゃあ、サインしてくれる？ ハンコは拇印でね。そうそう、そこね。これでお金のことは心配ないからね。とりあえず、このまま実習に入ろうか」

「すみません、すごく……眠くって……」

「ああ、大丈夫？ じゃあ、起きてから、また話そう」

チンピラの手が肩からはずれ、聡はソファの背もたれに沈み込む。身体はそのままずるずると座面に崩れ落ちた。

作品の詳細や最新情報はダリア公式サイト「ダリアカフェ」をご覧ください。

ダリア公式サイト「ダリアカフェ」

<http://www.fwinc.jp/daria/>